

平成23年度 施政方針

第1回市議会定例会の冒頭で、安田市長が平成23年度施政方針を表明しました。今回、施政方針の概要を6つの重点事項ごとに分けて紹介します。また、あわせて主な事業とその予算額についてもお知らせします。(※金額は万円未満を四捨五入)

1 豊かな産業づくり

経済状況が依然として厳しい中、活力ある天草の創造には、農林水産業を中核とした各種産業の振興を図ることが、大きな課題であります。とりわけ、基幹産業である農林水産業の振興と地場産業の育成は重要ですので、重点的に施策を実施します。

まず、農業については、農地の集積を図り、生産費の低減を図るため、環境との調和を図りながら、生産基盤の整備などを実施していきます。また、農林水産業を核にし

て、第2次産業・第3次産業との連携による第6次産業の創出を推進するため、引き続き、オリーブ栽培を通じた地域振興やオリーブの加工、商品開発・販売などの取り組みを行なう、「オリーブの島づくり」を進めるとともに、農林水産物の販路拡大やブランド化を図るため、都市部でのインショップ(デパート・スーパー内の専門店)の展開、農林水産物フェアの開催など、産業の振興と雇用の創出を総合的に推進していきます。

次に、減少する担い手を確保するため、新規就農者や就農希望者の支援、地縁的な営農集団や農作業受託組織の育成、共同利用組合の組織化を進めながら、本年度から本格的に実施される国の農業所得補償制度や、野菜などの価格安定対策に取り組み、農家所得の向上と経営の安定を図っていきます。耕作放棄地につきましては、放棄の状況に応じた対策を講じて再生に努め、有効利用と農産物の生産拡大を図っていきます。

また、田舎暮らしや二地域居住を志向する都市住民を対象に、都市農村交流事業や空き家バンクの充実による移住・定住事業を推進し、交流人口の拡大と中・長期の滞在型観光農業による農地の保全と農村の活性化を図っていきます。



▶天草産材の利用間伐を行うようす

- オリーブの島づくり支援事業 [オリーブ栽培指導員などの配置や、オリーブ栽培への補助、オリーブ振興協会への補助などを行う]……………4,054万円
- 産業振興施策推進事業 [(仮称)産業振興協会の開催や先進地視察、インショップでの販売促進等モデル事業の検討を行い、産業の振興と雇用創出を目指す]……………552万円
- 天草産材利用促進事業補助金 [天草産材を利用した住宅の新増改築やリフォーム経費の一部を助成し、天草産材の需要促進を図る]………2,400万円
- 水産加工用浄化施設整備事業補助金 [水産加工場が設置する浄化施設設置経費の一部を助成し、加工処理から出る油による海水汚濁の改善を図る]……………750万円

2 魅力ある観光地づくり

観光は、関連する産業のすそ野が広く、地域経済への波及効果が最も期待される分野で、しかも、文化的な側面から社会的な側面まで、多様な価値を生み出す産業でもあります。天草の経済を再生し地域を活性化させるには、定住人口だけでなく、交流人口の拡大を目ざした取り組みが強く求められており、魅力ある観光地づくりは、その起爆剤になるものと考えています。

まず、農業については、農地の集積を図り、生産費の低減を図るため、環境との調和を図りながら、生産基盤の整備などを実施していきます。また、農林水産業を核にし

産力向上を図ります。また、水産加工排水処理対策として、浄化施設の整備に対する支援を行い、漁場環境の保全に努めていきます。さらに、漁港の整備では、漁業集落の環境整備や漁港と漁場の一体的、計画的な整備により、漁港の機能強化や老朽化した既存施設の機能保全に努めていきます。



▲鹿児島県の出水駅と蔵之元港を結ぶシャトルバス

州新幹線が全線開業いたしますが、人、そして人を介する生の情報や特産物が行き交うようになれば、天草に埋もれているビジネスチャンスや観光素材が発掘されるなど、さまざまな効果が期待できます。そこで、交流客を天草に引き込む絶好の機会と捉え、「新幹線開業対策事業」に取り組み、その中心事業として、ノンパビリオン型(展示場を持たない)の博覧会「天草海道博」を開催します。

さらに、受け入れ態勢の強化を図るために、新幹線の停車駅である鹿児島県出水市と蔵之元港間のシャトルバスを1日4往復に増便し、これと天草周遊バスとを連結させて、南の玄関口・牛深方面からの交通アクセスの改善と市南部地域の交流拡大を図ります。

また、「牛深ハイヤ祭り」が40周年を迎えますので、本年度を「ハイヤ・イヤ」に位置づけ、年間を通じた記念事業を展開し、交流客の呼び込みを図ります。

一方、最近では自然や地域の文化・暮らしに触れる観光が注目されています。そういった意味では、本市は素材の宝庫であり、キリシタン文化をはじめとする特有の歴史、イルカウォッチングや農家・漁村民泊、各種ツアーリズムの体験、天草陶磁器や水産加工など独自の産業をはじめ、先般、国の重要文化的景観に選定された崎津の漁村景観など島特有の景観は、現代の旅行者が求める優れた素材でもあります。これらをいかした観光商品の開発、天草型ツアーリズムの実践や教育旅行の誘致を推進し、交流人口の拡大を図っていきます。

ジオパークにつきましては、「天草御所浦ジオパーク」の充実と並行して、ジオパークの範囲を天草全域に広げ、天草地域全体の活性化を図られるよう、昨年12月に天草地域の2市1町で構成する「天草ジオパーク構想推進協議

会」を設立しました。本年度は、ボランティアガイドの養成や情報の発信、関連資産の調査などを行い、「天草ジオパーク」として、平成25年度の日本ジオパークネットワーク認定申請に向けて取り組んでいきます。

また、「天草御所浦ジオパーク」の充実と並行して、ジオパークの範囲を天草全域に広げ、天草地域全体の活性化を図られるよう、昨年12月に天草地域の2市1町で構成する「天草ジオパーク構想推進協議

会」を設立しました。本年度は、ボランティアガイドの養成や情報の発信、関連資産の調査などを行い、「天草ジオパーク」として、平成25年度の日本ジオパークネットワーク認定申請に向けて取り組んでいきます。

また、「天草御所浦ジオパーク」の充実と並行して、ジオパークの範囲を天草全域に広げ、天草地域全体の活性化を図られるよう、昨年12月に天草地域の2市1町で構成する「天草ジオパーク構想推進協議

- 新幹線開業対策事業 [新幹線の開業に合わせた「天草海道博」の開催や、「牛深ハイヤ祭り」40周年記念事業への補助などを行う]……………7,590万円
- 出水天草間交通アクセス導入等事業補助金 [出水駅～蔵之元港間のシャトルバスの運行や牛深～本渡間の観光周遊バスの運行などを行う]…2,300万円
- 観光バスガイド事業 [島内観光周遊バスに係るバスガイド事業を委託し、雇用機会の確保と、天草観光の満足度アップによる誘客を目指す]…839万円
- ジオパーク推進事業 [「天草ジオパーク構想」を推進する協議会への負担や、ジオサイトの解説板の設置などにより、世界ジオパークネットワークの認定を目指す]……………985万円